



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松浦一慶 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	216,304	△10.8	21,070	△2.2	22,925	△2.5	17,445	4.7
2020年3月期第3四半期	242,553	△4.7	21,540	△20.3	23,518	△19.7	16,668	32.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 22,368百万円(26.0%) 2020年3月期第3四半期 17,752百万円 (782.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	79.78	79.70
2020年3月期第3四半期	76.27	76.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	419,532	278,855	65.8
2020年3月期	405,131	260,358	63.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 275,966百万円 2020年3月期 257,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00
2021年3月期	—	11.00	—		
2021年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正については、本日(2021年1月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	△6.8	29,000	11.1	32,000	11.3	23,000	13.9	105.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年1月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	237,075,556株	2020年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	18,338,793株	2020年3月期	18,515,473株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	218,666,174株	2020年3月期3Q	218,535,512株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2021年1月29日(金)に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明テレフォンカンファレンスを開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2021年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済の悪化に加え、依然として緊張状態にある米中関係の影響など、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,163億4百万円となり、前年同期間に比べて262億49百万円の減収となりました。また、営業利益は210億70百万円と前年同期間に比べて4億70百万円の減益、経常利益は229億25百万円と前年同期間に比べて5億93百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は174億45百万円と前年同期間に比べて7億77百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、主要市場である自動車産業向けを中心に需要は回復傾向にありますが、前四半期までの落ち込みを挽回するには至らず、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

合成ラテックス関連では、化粧品材料や一般工業品、樹脂改質用途などの需要が低調に推移した結果、売上高は前年同期間を下回ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした医療・衛生用手袋向けの需要拡大により営業利益は前年同期間を上回りました。

化成品関連では、欧米、アジアとも需要は底堅く販売数量は前年同期間を上回りました。原料市況に伴い製品価格が下落したため、売上高は前年同期間を下回りましたが、営業利益は前年同期間を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて210億71百万円減少し1,143億98百万円、営業利益は前年同期間に比べて32億27百万円減少し53億17百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学樹脂、光学フィルムともに販売が堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連全体では売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

高機能ケミカル関連では、トナー及び電池材料は売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。化学品及び電子材料は売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。この結果、高機能ケミカル関連全体では売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて23億30百万円増加し701億98百万円、営業利益は前年同期間に比べて30億89百万円増加し163億26百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を下回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて76億50百万円減少し331億5百万円、営業利益は前年同期間に比べて5億78百万円減少し10億94百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、144億1百万円増加し、4,195億32百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、現金及び預金の増加等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、40億95百万円減少し、1,406億77百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、184億96百万円増加し、2,788億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2021年1月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,029	42,106
受取手形及び売掛金	68,603	69,275
電子記録債権	2,729	3,319
商品及び製品	53,026	47,947
仕掛品	3,937	3,861
原材料及び貯蔵品	16,240	16,831
未収入金	30,018	25,520
その他	7,946	9,918
貸倒引当金	△81	△101
流動資産合計	214,447	218,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,123	45,844
機械装置及び運搬具(純額)	29,465	36,144
土地	18,268	18,427
建設仮勘定	22,573	13,777
その他(純額)	4,361	4,233
有形固定資産合計	114,791	118,425
無形固定資産		
その他	3,669	3,363
無形固定資産合計	3,669	3,363
投資その他の資産		
投資有価証券	62,118	71,303
繰延税金資産	2,713	731
その他	7,638	7,279
貸倒引当金	△245	△245
投資その他の資産合計	72,224	79,067
固定資産合計	190,684	200,855
資産合計	405,131	419,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,926	59,025
電子記録債務	2,765	3,143
短期借入金	10,960	10,960
未払法人税等	2,999	2,383
賞与引当金	1,919	329
修繕引当金	2,989	3,726
その他の引当金	45	28
その他	27,807	28,927
流動負債合計	112,410	108,521
固定負債		
社債	10,000	10,000
繰延税金負債	758	1,695
退職給付に係る負債	12,704	12,880
修繕引当金	1,638	250
その他の引当金	106	123
その他	7,156	7,207
固定負債合計	32,363	32,156
負債合計	144,773	140,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,252	19,150
利益剰余金	220,379	234,029
自己株式	△17,181	△17,017
株主資本合計	246,662	260,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,027	16,437
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	2,511	1,014
退職給付に係る調整累計額	△1,981	△1,857
その他の包括利益累計額合計	10,556	15,593
新株予約権	283	141
非支配株主持分	2,858	2,748
純資産合計	260,358	278,855
負債純資産合計	405,131	419,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	242,553	216,304
売上原価	172,803	149,088
売上総利益	69,751	67,216
販売費及び一般管理費	48,211	46,147
営業利益	21,540	21,070
営業外収益		
受取利息	123	88
受取配当金	2,132	1,749
持分法による投資利益	130	19
補助金収入	0	755
雑収入	444	353
営業外収益合計	2,830	2,963
営業外費用		
支払利息	100	101
為替差損	438	463
雑損失	313	544
営業外費用合計	851	1,108
経常利益	23,518	22,925
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	—	104
特別利益合計	2	108
特別損失		
固定資産処分損	352	112
投資有価証券売却損	—	38
その他	25	16
特別損失合計	378	166
税金等調整前四半期純利益	23,142	22,867
法人税等	6,347	5,346
四半期純利益	16,795	17,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,668	17,445

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	16,795	17,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,977	6,410
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△1,197	△1,514
退職給付に係る調整額	106	124
持分法適用会社に対する持分相当額	70	△173
その他の包括利益合計	957	4,847
四半期包括利益	17,752	22,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,621	22,473
非支配株主に係る四半期包括利益	130	△105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	134,091	67,869	201,959	40,594	242,553	—	242,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,378	—	1,378	161	1,539	△1,539	—
計	135,469	67,869	203,338	40,755	244,093	△1,539	242,553
セグメント利益	8,544	13,237	21,781	1,671	23,453	△1,913	21,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,913百万円は、セグメント間取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,956百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	113,312	70,167	183,480	32,825	216,304	—	216,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,086	31	1,117	280	1,397	△1,397	—
計	114,398	70,198	184,597	33,105	217,702	△1,397	216,304
セグメント利益	5,317	16,326	21,643	1,094	22,737	△1,667	21,070

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,667百万円は、セグメント間取引消去53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,720百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。